



「がまん玉」をピカピカに

校長 新家子 直之



季節を彩る花が、サクラからハナミズキに変わり、ケヤキをはじめ学校の木々も新緑が春の日に美しく映えています。

こんな華やかな季節なのに、それを子どもたちと一緒に感じるできないことを、とても惜しく思います。

新型コロナウイルスの感染が落ち着いたとはいええない状態で、また休校が延びることになりました。子どもたちも窮屈な毎日がまた続くということで、さぞ辟易していることでしょう。

でも、自分・家族・みんなの『命を守る』ために、今は学校に行けないということ、そしてこの国難が、私たち一人一人の努力、協力なくして乗り切っていくことができないということ子どもたちも分かってくれることを願っています。

保護者、地域の皆様には、子どもたちの健康管理はもちろん、課題の取組や保育の自粛等、たくさんのご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。事態が収束するまで、もう少しの間、子どもたちのご家庭・地域での見守りをよろしくお願いいたします。

私から、子どもたちへのメッセージです。（低学年の児童には難しいので、意味を解してお伝えいただければ幸いです。

＜川越西小学校のみなさんへ＞

みなさんは今、毎日どのように生活をしていますか？きそく正しい生活が送れていますか？学校で運動や勉強ができませんが、でも、こういう時だからこそチャンスと思って、できることもあると思います。例えばこの休みの間に、「字がうまく書けるようにする」とか「その学年で習う漢字を全部おぼえてしまう」とか「地図記号を全部おぼえる」「県名と県ちょうしよざい地をおぼえる」「なわとびの技がたくさんできるようにする」「本をたくさん読む」とか、時間をかけないとできないこともできると思うのです。ピンチをチャンスに変えてほしいと思います。

今、世界中の人がいろんなことにたえています。たえるという意味の言葉には「がまん」と「しんぼう」がありますが、意味のちがいがわかりますか？

「がまん」というのは自分のために、自分がいやなことにたえること、「しんぼう」というのは先にある（ゆめ）や（きぼう）のためにたえることです。同じたえるなら「しんぼう」でできる人になりたいですね。

早くこの病気がおさまって、またもとどおりの生活がおくれるように、みんなで今は「しんぼう」していきましょう。『がまん玉』をピカピカにするチャンスですよ。

4月29日の新聞で、ドラえもんが、みんながだれかのためを思ってがんばってくれたから『未来はだいじょうぶ！』とっていました。（ドラえもん「STAT HOME」プロジェクト 参照）

明るい未来のために、川越西小学校のみなさんも、もう少しがんばってください。先生たちもお家の人もいっしょにがんばります。

学校で、みなさんに会えることがのびてしまいましたが、楽しみは先にとっておこうと思います。学校がはじまるまで、元氣ですごしてくださいね。



